

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

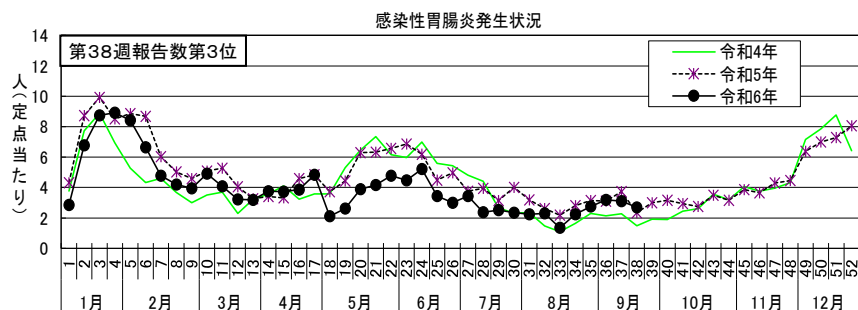
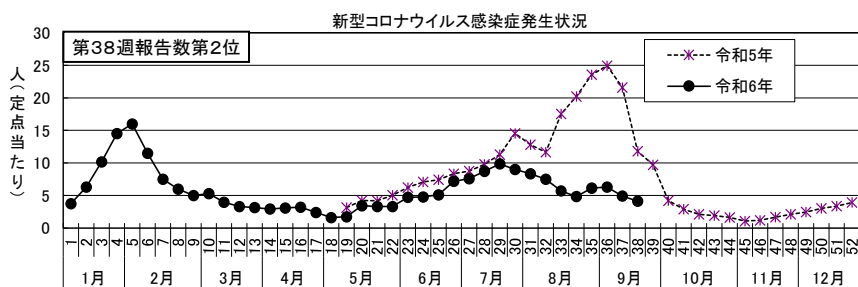
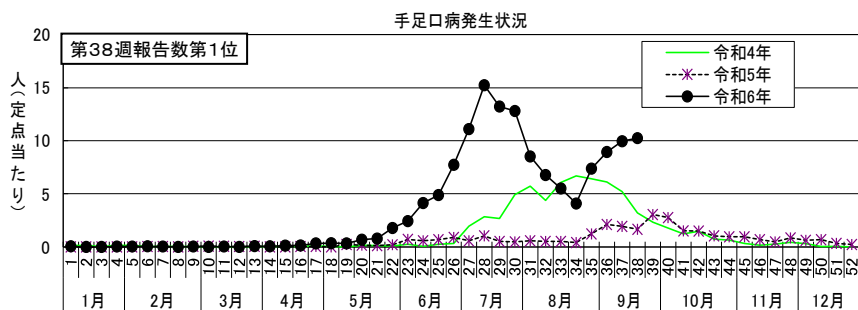
令和6年9月16日（月）～令和6年9月22日（日）〔令和6年第38週〕の感染症発生状況

第38週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）手足口病 2）新型コロナウイルス感染症 3）感染性胃腸炎でした。

手足口病の定点当たり患者報告数は10.25人と前週（9.95人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は4.12人と前週（4.90人）から横ばいでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.69人と前週（3.11人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

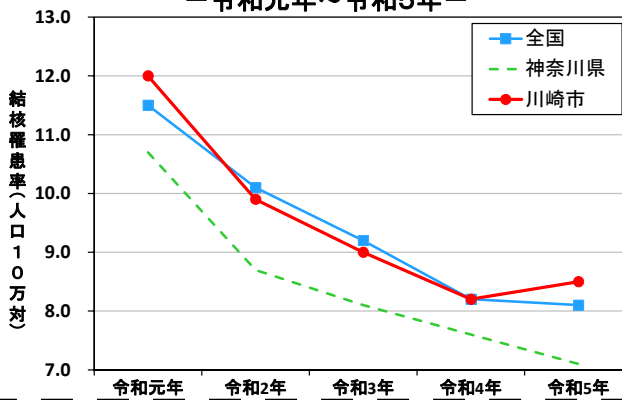


9月24日～30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です！

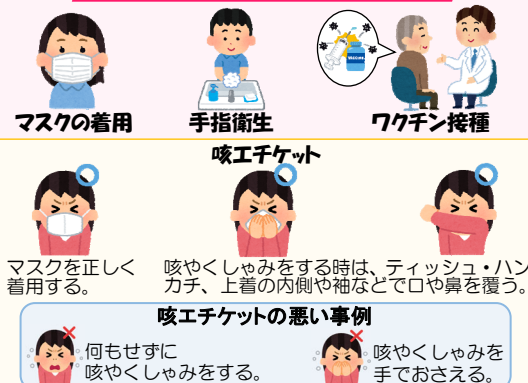
令和6年9月24日から9月30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です。川崎市における令和5年の結核罹患率は、令和4年から増加して8.5（人口10万対）となり、全国や神奈川県全体を上回っています。結核の初期症状は咳や発熱等、風邪に似ているため、気が付かないうちに進行することがあります。咳や痰が2週間以上続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

また、秋から冬にかけて流行する呼吸器感染症でも発熱や咳はみられます。呼吸器感染症の多くは飛沫感染や接触感染で広がるため、手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策を徹底しましょう。なお、ワクチンが有効な疾患もありますので、対象となる方は接種を御検討ください。

全国、神奈川県、川崎市における結核罹患率の年次推移
— 令和元年～令和5年 —



呼吸器感染症の予防対策



川崎市
KAWASAKI CITY

発行

川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当・各区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250 令和6年9月25日作成